

埼玉の くらしと 社会保障

2024年3月1日発行 第335号

(毎月1回発行)

発行 埼玉県社会保障推進協議会

〒330-0064 さいたま市浦和区岸町7-1 2-8 自治労連会館1階

TEL 048-865-0473 FAX 048-865-0483

ホームページは「埼玉社保協」で検索ください

第5回 25条埼玉集会 「世界から見た日本のヒューマンライツ」

2月24日(土)午後1時から、さいたま共済会館6階にて、第5回25条埼玉集会が取り組まれ249人の参加がありました。寺久保共同代表からの開会のあいさつでは、「新型コロナにより、私たちの日常生活の矛盾が浮き出し、特に



非正規、中小零細企業、個人営業の方々の仕事がなくなり、大変な思いをした。現在でも生活保護の申請は毎月増えている。2013年最大10%、平均5%の生活保護の引き下げがあった。全国一千人が裁判でたたかっている。昨年11月に名古屋高裁で画期的な勝利判決、昨日の三重県の津地方裁判所で勝訴した。現在は15勝11敗になった。世論が、裁判所の判断を進化させていった、我々の主張が届くようになってきたのは、みなさんのたたかひの成果。日本の人権状況は、世界から2周も3周も遅れている。そういうことから、人権問題を正面からとりあげて、現実には抱えている問題、明らかにしつつ、国際的人権の視点で学んでいこうと今日の集会を準備してきた。明日からのたたかひに活かしてほしい。」

来賓には、埼玉弁護士会から尾崎会長、埼玉司法書士会から原田常任理事からあいさつがありました。

基調講演では、「世界から見た日本のヒューマンライツ」をテーマに、藤田早苗さんが講演をされました。はじめに、たくさんの方(団体)の方の参加に感謝を述べつつ、改めて、国際人権はすべてにかかわっていることを認識してほしい。学生は、ちゃんと知れば、食いついてくる。孤独な状況におかれているが、点と点をつないで線にすることが大事。どんな人権問題も同じ、誰でもが障害者になる可能性はあるからこそ、「自分事」として考える想像力をもってほしい。

国際人権基準からみた、日本として、人間らしく生きる

ために、衣食住、移動の自由、教育や情報(知る権利)の自由、差別をされない、拷問をされないこと。当たり前と思っているのが人権。自由と平等を追求することができる。政府はそれを助ける義務がある。不当に制限する法律を廃止することが大事。第三者による人権侵害を防ぐ。条件を整えることが求められている。国際人権法は、第2次世界大戦以降につくられた。世界人権宣言は、私たちの人権とそれを実現するための普遍的な人権が定められた最初の文書。生まれてきたすべての人に対して、その人が可能性や能力を発揮できるように、政府はそれを助ける義務がある。その助けを要求する権利が人権。人権は誰にでもある。国内の法、憲法の基本的な人権と国際的につながっている。

しかし、今の政府は、人権問題、国連からの勧告をまったく耳を傾けないどころか、国際人権委員会からの勧告にたいして「一方的な見解。抗議をせざるを得ない」として、国連人権理事会の特別報告者の勧告を無視するありさま。

国際的には「クリティカルフレンズ(批判もする友人)」を大切にしていくことが国際社会で信頼と評価を得ていくことになることをわかっていない。また、メディアの責任も大きく、人権という普遍的な基準にてらして何が問題なのかを伝えること。政府が人権を保障する義務を果たしているかを監視することも必要。

長く続く自民党政治によって、人権問題が世界から大きく遅れている(取り残されている)どころか、人権を「おもしろいやり」にすり替えている日本の道徳についても問題視していました。



パネルディスカッションでは、本田宏さんの司会で、4人のパネラー、そして、藤田早苗さんも入り約70分間行いました。最初のパネラーは平和と人権、環境を守る平和運動センターの金子さんからは、教育現場での出来事として、生徒から「自分の身体の一部の髪型をなんで規制されるのか、決めるのは先生ではない、一人ひとりの生徒」と言われたことで、校則で子どもたちをしばっていた時代であっ

たため、頭髪は権利という発想がなかった。そこから、「ボウズ頭」を校則からなくした経過。子どもの権利条約は①差別の禁止、②子どもの最善の利益を尊重する、③生命、生存を発達する権利④子どもの意見の尊重 この4つを学びながら学校のルールを変えてきた経過の報告がありました。

二人目のパネラーの生活保護裁判の原告の佐藤さんからは、生保裁判の原告になった経過、原告になっての生活の見直し、働く見直し、そして、原告としての生の声を法廷にとどけ反映させるたたかい。最後の最後までたたかう決意の報告がありました。

3人目のパネラーの年金者組合の曾根さんからは、年金引き下げ違憲訴訟の原告となり、減額措置の不当性を訴えてきた経過、そして女性の低年金での貧困化問題を浮き彫りにしてきた。日本高齢者人権宣言の実行性と広める運動について報告がありました。

4人目の「ななふく苑」の施設長の速水さんからは、18年前に開所した聴覚障害者向けの手話等コミュニケーションに配慮した老人施設の開所に至るまでの運動、そしてご自身のろう者として苦勞や苦しみ、優生思想による支配にたいしての葛藤や克服してきたたたかいの報告。「一人ひとりが大切される、一人ひとりが人として尊重される」社会の実現をして行く決意が語られました。

集会アピールを採択し、埼玉県連合会、埼玉連から連帯のあいさつをうけて、柴田会長(共同代表)の閉会のあいさつでは、20回以上の会議を重ね苦勞してこの集会を成功させた実行委員のみなさんへの労いと日々様々なことがら目をそむけないで、主権者としての意識で憲法25条を活かし、わたしたちが人権を守らせる政府をつくることの必要性を訴えて終了しました。

(※編集 埼玉県社保協 事務局)

草加の社会保障をよくする会

「マイナ保険証」学習会に88人参加

～マイナ保険証をもっていないとどうなるの？～

草加の社保をよくする会が、2月12日に「マイナ保険証」学習会を県保険医協会の田中事務局長を講師に中央公民館で行いました。今年12月健康保険証廃止の政府方針に、「マイナ保険証を持っていない人はどうなるの？」と不安もあって、会場満員の88人が参加しました。

講演では、①マイナ保険証の不正作動、うまく使いこな



せない人などの対策が不十分なままに実施した。②マイナ保険証所持の有無を問わず健康保険証に替わるものが発行される。③マイナ保険証推進は、財界などがマイナ保険証から得るビッグデータに大きな魅力があり、問題があっても止められない状況。④日本の皆保険制度をまもる、個人情報の流出を防ぐ点からも「健康保険証を残せ」が大切だ、など2時間休まず話されました。資料も豊富で聴く方も皆、集中し一生懸命。質問・意見も数多く出され予定時間を大きく延長しました。

「皆保険制度からマイナ保険証まで、細部にわたりお話いただき、よくわかりました。政府のめざす先まで見えた気がしました」(男性73歳、団体で知って)「長時間、内容も広く、深いお話。カードを持っていない本人にとって勇気をもらいました。学習はとても大事ですね」(男性80歳代、チラシを見て)「マイナカードは未だに作っていません。不安があり、今日に至っています。今日は興味があり参加しましたが、いい勉強になりました」(女性70歳代、チラシを見て)などの感想が寄せられ、よくする会の学習会チラシを見ての参加者も多数ありました。

(草加の社会保障をよくする会 新聞 仁)

学校給食費無償化に向けて、4ヶ月で1万筆を超える

久喜地域社保協

久喜地域社保協も加入している「学校給食費の無償化をめざす市民の会」では、11月議会で「小中学校の学校給食費の無償化に向けて」署名を作成し、11月議会に提出していくことを目標に、幅広い方々に呼びかけてきました。市民の会は、昨年7月に発足し、給食費の無償化に向けて取り組みを開始しました。10/1は1,600筆ほどだった署名でしたが、会議ごとに進捗状況や協力してもらえる団体、知名度のある方など、

無償化するまでは、あきらめません!
請願への賛否、議員別一覧表です!

結果のご報告

18日の委員会審査では?
採択することに **賛成** 杉野修 藤段和雄 眞志啓智

反対 斎藤広子 榎本実明 (議員採択を主張したが本会議ではなぜか「反対」に転換?)

22日の本会議では?
請願を採択することに **賛成** 【日本共産党久喜市議員】 〇は討論者 石田利香(杉野 修) 渡辺昌代 【市民の政治をまもる会】 藤段和雄(杉野 修) 川辺美信 田村栄子 (1人会議) 眞志啓智 宮崎亜希 (後継者 榎本)

反対 【久喜からの会】 〇は討論者 新井 謙 大谷和子 香山平明 園部茂雄 盛永圭子 成田ルミ子 川内達雄 瀧川泰祐 樋口智洋 榎本実明 奈良政宏 【久喜党久喜市議員】 斎藤広子 岡崎克巳 舟野郁夫 大橋きよみ 山田正義 (後継者 榎本) (1人会議) 瀧田博文

議会のポイント?
(請願採択に反対した議員の理由)

理由その①「無償化すると、しない自治体との間に不公平が生まれるから」
◆やる気と力のある自治体が、市民のために進めた結果であり、不公平ではないのでは?久喜市も子ども医療費無料などやってきた。議会も主張した。

理由その②「校舎の修繕など、他にお金がかかることがある。財源がないから」
◆無償化も、校舎修繕も必要なのはやるべきでは?財源は「みんなで知恵を出してねん出するもの」ですね?久喜市も「全庁的協力をした」そうです。

理由その③「国が無償化をやろうとしている。動向を見守るべきと考えから」
◆何とせず待つではなく、できる自治体から始めている。地方の動きが望まぬ動かし方になり、後押しになるのでは? ◆国の無償化は、いつになるか不明です。

学校給食費の無償化をめざす久喜市民の会
連絡先
会長: 島居佳吉 090-1406-1707
副会長: 杉橋証彦 090-5859-9034

私たちは「久喜市の学校給食を考える会」として再出発します

幅広い層に声掛けを行ってきました。そして、11月初めには8,400筆まで到達し、11/9の請願提出時には10,135筆となりました。わずか4カ月で1万筆を超えるまでに広がり、11月の議会に向けて請願書を提出することができました。

教育環境委員会では、請願の趣旨採択で、久喜みらいの会、公明党は動議をだしましたが、請願に賛成した議員が多数で採択されました。しかし、本会議において、多数を占める、みらいの会、公明党は、「他市と不公平」、「財源がない」、「国のやることを見守る」ということで、「請願採択に反対し、市民の会が集めた、1万筆を超える市民の声に「数の力」で市民の願いを踏みつけました。

しかしながら、子育て世代の要求が、世代を超えて大きくひろがったことは今後の運動につながっていきます。全国的な流れは、学校給食費の無償化です。憲法26条の2項には、「すべて国民は、法律の定めるところにより、その保護する子女に普通教育を受けさせる義務を負ふ。義務教育は、これを無償とする。」明記されており、国の責任で給食費についても無償化にしていくことですが、住民の声を受けて、市民の暮らし、教育を守っていくのは自治体の役割です。その役割を果たさせるために声をあげていく重要性を感じました。

今回、呼びかけ人になってくれた人の奮闘もあり署名数が伸びた要因です。また、PTAにも署名の申し入れをしたことでPTA内にも署名が大きく広がりました。

今後も「市民の会」の取り組みに敬意を表しながら、住民の声でもある「給食費の無償化」の運動を引き続きつづけていきます。

(資料提供 久喜地域社保協、久喜市議会議員団ニュース)

国保税を引き下げた力を結集し 地域から、社会保障の拡充を

蓮田社保協 学習会&再結成総会

2月18日(日)13時30分から、蓮田社保協の学習会&総会(再結成)がおこなわれました。社会保障情勢と埼玉社保協30年、マイナ保険証についての学習会のあと、総会に入り、土井事務局長から総会の位置づけ、2003年2月に活動をスタートして20年間社会保障拡充の運動を積み重ねましたが、新型コロナによる活動の停滞もあり、新たなにスタートする総会としていくことを確認し、議案、予算案、次期役員体制の提案を行いました。その後、日本共産党の二人の市議会議員から「国保問題」、「介護保険問題」につい



て報告がありました。「毎年1億円の一般財政から繰入を行ってきたことにより国保税を引き下げたが、昨年の暮れに、県から第3期運営方針案が出され、法定外繰入をやめる指導もあり、蓮田市は法定外繰入が1千万円まで引き下げになった。このことにより、次年度は国保税の引き上げとなり、今後も引き上がっていく問題点について」、榎本議員から報告がありました。介護保険では、「第9期介護保険の改悪について」特に訪問介護の基本報酬の引き下げの問題について説明がありました。小規模介護事業所をはじめとした事業主、介護職員から訪問介護報酬を引き下げる運動が全国的に大きくなってきている。厚労省へ「訪問介護報酬引き下げを中止する『意見(パブコメ)』」を総会参加者に協力の訴えをしました。次年度の介護保険料の基準額が5850円(現行は5555円で+295円)に引き上げをされることにも言及し、市は、給付費が高くなってきておりと弁明をしているが、住民は物価高の中で、生活が困窮しており、これ以上の介護保険料の引き上げは中止するべき。そして、総会議案を引用し、「社会保障が安心の制度になれば、将来の不安からの貯蓄も消費に回ります。社会保障の充実こそが経済の好循環をつくりだす。」と深田議員から報告がありました。

その後、全体で討論をおこない、議案、予算案、役員体制を全体で確認しました。新会長に高岩増子さん、事務局長に土井正洋さん。事務局次長に岸尾悦子さんと6人の幹事が承認されました。総会の参加者は全体で31人でした。

軍国主義思想の復活に反対し、思想と信教

の自由を守る —2.11 埼玉県民集会—

戦争や理不尽な政治に対する人間的な怒りは持ち続けて行動の原動力にしよう！

2月11日(日)に埼玉教育会館で『建国記念の日』不承認軍国主義思想の復活に反対し、思想と信教の自由を守る2・11埼玉県民集会が開催され103人が参加しました。基調報告は埼玉県歴史教育者協議会の岩田さんが行い、第一に、2023年は関東大震災から100年であることから、その際に起こった朝鮮人虐殺の埼玉県内の事例について取り上げました。震災後、朝鮮人が井戸に毒を入れているなどのデマにより、朝鮮人狩りが起こり、多くの人が犠牲になった。加害者は一般の日本国民。こうしたことがなぜ起きたのかを調べるフィールドワークを行なっているとのこと。

片柳村の浄泉寺には、朝鮮人被害者の追悼碑があり、案内板もおかれています。自警団は在郷軍人が中心で、自分の故郷を守る政治の行ないとして虐殺を行なったその背景に軍国主義があると指摘しました。なかったことにさせないことが大事、「なかったことにする」動きは着々と進んでおり、抵抗する必要を訴えました。

第二部の記念講演のテーマは「新しい戦前にさせない～子どもの権利、子育て、ジェンダー平等」であり、講師は立教大学名誉教授の浅井春夫先生でした。

包括的性教育は、人生の必須課題であり、子ども、若者だ

けでなく、成人や高齢者にも必要だと冒頭で述べ、「包括性教育推進法制定を目指す会」で活動を開始していますが、政権与党の人たちは真っ向から反対しているといえます。

「新しい戦前にさせない」ということは、戦時体制になる前に止めるということで、戦時体制ではメディアコントロール、歴史修正主義、教科書の改変、家父長制、ジェンダー不平等などが行なわれてくる。



戦争というテーマを考えるきっかけは、育ての父が所有していた「ガス障害医療券」がきっかけだった。医療券は国家公務員共済組合から発行されたもので、戦時中に毒ガスをつづっていた島で勤務していた人に対して出されたものです。

そして、アジア太平洋戦争とは何であったかが取り上げられ、正規軍対正規軍の戦いだったが、民間人も多く亡くなった。現在では、民間人をいかに殺すかの戦争になっており、85%は民間人が死亡している。軍人だけでなく、相手の経済力を落とし、兵力を補充させないために民間人を殺すというのが戦争の本質。今日本は、戦争体制をつくりはじめており、軍事政治では立憲主義を否定し、憲法を変えること、軍事力増強サイクルにより、軍事費5兆3,000億円を、さらに多くしていこうとしている。1955年に発行された『臨時軍事費』によると、太平洋戦争末期には85.5%が軍事費だった。戦争する国、しない国の分岐点として、本来福祉に使うためのお金を軍事へ注ぎ込み、少子化対策の原資を得るために健康保険料に上乗せしようとしている岸田政権についても言及。政権与党をはじめとした差別発言に対して、現政権は対処しないことも分岐点の一つにあげられました。

憲法を守る問題が、今大きな課題、戦争は最も非福祉的行為であり、憲法こそ平和、人権、福祉の源泉。憲法97条は、人権を勝ち取ってきた歴史の途上に今があることを示している。今の日本の社会の中で、みんなが安心して生きられる社会をつくっていくためには、最大の暴力は戦争であり、性の教育と歴史の教育を合わせて行なっていく必要がある。今こそ日本国憲法を活かすべきであり、第13条の「すべて国民は個人として尊重される」、第12条の「不断の努力」に依拠すべき、戦争や理不尽な政治に対する人間的な怒りは持ち続けて行動の原動力にしよう！と訴えて講演を終えました。会場が心一つになり、集会後は教育会館から浦和駅西口まで平和を願い、パレード行進を行いました。

(※埼労連 渋谷さん、医療生協さいたま 小野さんの資料をもとに社保協で編集しました。)

2024年自治体要請キャラバン コース日程表

キャラバンの日程表を市町村へ送付しました。

日程は変更になる可能性がありますのでご注意ください。

要請団役員会議は6月13日(木)13:00から埼玉会館にて開催を予定しています。

(2月29日現在)

日 程	曜	コース	懇談時間	
			①10時～ 11時30分	②14時～ 15時30分
7月9日	火	1		さいたま市
		2	久喜市	幸手市
		3	川越市	川島町
7月10日	水	4	松伏町	春日部市
		5	富士見市	ふじみ野市
		6	深谷市	熊谷市
7月11日	木	7	桶川市	北本市
		8	長瀨町	皆野町
		9	毛呂山町	越生町
		10	滑川町	嵐山町
7月12日	金	11	加須市	鴻巣市
		12	杉戸町	宮代町
		13	三郷市	八潮市
		14	日高市	飯能市
7月16日	火	15	上里町	神川町
		16	吉見町	東松山市
		17	坂戸市	鶴ヶ島市
		18	川口市	草加市
7月17日	水	19	寄居町	横瀬町
		20	志木市	新座市
		21	小川町	東秩父村
		22	越谷市	吉川市
7月18日	木	23	入間市	狭山市
		24	上尾市	伊奈町
		25	行田市	羽生市
		26	秩父市	小鹿野町
		27	蓮田市	白岡市
7月19日	金	28	朝霞市	和光市
		29	所沢市	三芳町
		30	ときがわ町	鳩山町
		31	蕨市	戸田市
		32	本庄市	美里町